

無公害の保存木材「エコアコールウッド」の国内唯一のメーカー

産学官連携により革新的な保存処理木材「エコアコールウッド」の開発を、1999年に成功させた。この新製品は、多くの文化財資産や住宅または非住宅等に採用され耐久性向上に貢献。主な事業は、エコアコールウッドの製造・販売をはじめ、木材製品への保存剤の注入・乾燥等の受託加工であり、その他伐採業務等の委託業務である。現在は、新たな事業として海外展開も視野に入れ、日本初の不燃木材の開発に取り組んでいる。

●所在地 福岡県筑後市大字和泉309-1

●電話/FAX 0942-53-2174/0942-52-5158

●URL <http://www.kyumoku.co.jp>

●代表者 代表取締役社長 角 博

●設立 1930年

●資本金 4,956万円

●従業員数 197人



日本初「不燃木材」の開発による国産材輸出メーカーへの挑戦

今の難燃材は、注入されている難燃剤が湿度が高いと水分を吸着ししみ出てくことや、品質保証ができるほどの均一な薬剤分布が確立されていない課題がある。そこで、同社は新事業として木材の付加価値向上策の一環として、2017年度の戦略的基盤技術高度化支援事業に採択された、日本初の「不燃木材」の開発に注力している。現在は、不燃木材の試作開発が終了し、最終の製品評価を行っている段階である。この新「不燃木材」が国内に上市された後には、海外への展開も計画されている。



不燃木材の開発

全員参加の清掃活動で働きやすい職場作りと業務効率化の推進

積極的な設備投資を行うとともに、ソフト即ち“ヒト”面も併せて生産性の向上に取り組んでいる。毎朝・夕の清掃活動や2か月に1回の大掃除、さらには毎月1回、環境整備活動の状況をチェックするなどを行っている。狙いは、安全第一・品質向上はもとより、社員自らが仕事をしやすい職場環境を作り、部門の垣根を超えた社員間のコミュニケーションの機会を増やすことにある。その効果は大きく、徹底的に掃除することで、仕事や作業に対する社員の気づきや感性が醸成され、業務の効率化に繋がっている。



掃除大賞2020受賞式

社員が能力を発揮し仕事と生活の調和を図れる雇用環境の整備

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定している。社員が能力を発揮し仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境のために、有給休暇取得率60%以上等の目標を掲げ実施している。さらに、特別の事情がない限り残業月10時間以内、育児休業取得促進、定年後も当人が希望すればいつまでも働ける体制などを整備している。今後も以上のような施策の活用を促進していくとともに、さらに社員の働きやすい環境整備や人材活用と生産性向上を伴った働き方改革に取り組んでいく。



全社研修会